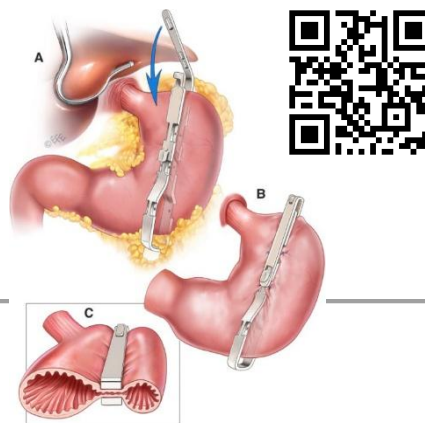


B - Clamp® (BariClip) 手術のご案内

B-Clamp は、胃を切ったりせず、肥満症治療器具のチタンクリップ（シリコンカバー）で胃を縦に挟むことにより、食事量を制限する新しい減量手術です。「バナナ状の胃」を形成することで早期満腹感を得られるようになります。

- 胃を切らない・戻せる 新しい治療法です。
- きずの小さな腹腔鏡下手術で行います。



B - Clamp の特徴と利点

1. 非切除型の減量手術であり、胃や小腸を切らないため解剖構造の変化が最小限です。
2. 必要に応じて後からクリップを取り出すこともできます。
3. 縫合不全リスクを回避します。
4. 胃機能を温存し、消化液や消化機能を保ちます。
5. 胃食道逆流症の発生を抑える設計です。
6. 術後も内視鏡検査が可能です。



この手術が適している方

- BMI 30 以上の肥満症で、胃の切除までは希望されない方
- 食事療法・運動療法で効果が十分でなかった方
- GLP-1/ GIP といった抗肥満症治療薬の効果が十分ではない方や副作用・コストの

面から継続できない方

- 体への侵襲を抑えたい方
- 少ない負担で減量を希望する方

手術の流れ

- 手術は**腹腔鏡下手術**で行われ、手術時間はおよそ1時間。
- 入院期間は2泊3日（希望に応じて延泊も可能）。

期待できる効果

- 15-20%**体重減少**が報告されています。
- **糖尿病、高血圧、睡眠時無呼吸症候群**といった**肥満関連健康障害**などの改善も期待できます。
- 減量により**変形性関節症**による**痛みの軽減**も期待できます

*上記、効果の程度は個人差がありますことをご了承ください

リスクと合併症

合併症	概要
クリップのずれ	3%程度。再手術が必要となる場合があります。
胃壁への侵食（erosion）	1-2%程度。再手術が必要となる場合があります。

胃通過障害	位置変化などで食物が通りにくくなることがあります。
胃食道逆流症	1-2%程度。制酸剤が必要になることもあります。
短期合併症	出血、感染、麻酔合併症など一般的な手術リスクがあります。
長期リスク	体重リバウンドや未知の合併症の可能性があります。

費用について

- 本手術は自費診療（保険適用外）です。
- 手術費用は **200 万円（税別）**。（費用には手術料、麻酔料、入院管理料、個室代が含まれます。2泊3日）。
- 外国籍患者様の診療の際には、国際診療手数料があり、料金が異なります。
- **混合診療が禁止されているため、術後の外来費用（診察・検査等）も自費診療** となります。

患者さんへのメッセージ

B-Clamp は、保険診療の減量・代謝改善手術に比べて侵襲性が低く、可逆性のある新しい減量手術です。しかし、成功のためには術後の食生活改善や運動も不可欠です。医師が一人ひとりに合わせた、個別化した治療法をご提案しながらフォローします。

尚、本手術は、当方で臨床保険に加入の上、東京慈恵医科大学の特定臨床研究の一環として、**安全性と有効性の確立を目指して実施**されます。参加にあたっては説明と同意が必要です。